

13a 糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c (NGSP) <7.0%

13b 糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c (NGSP) <8.0%

※糖尿病の治療には運動療法、食事療法、薬物療法があります。運動療法や食事療法の実施を正確に把握するのは難しいため、薬物療法を受けている患者のうち適切に血糖コントロールがなされているかをみることにしました。

HbA1c は、過去 2～3 か月間の血糖値のコントロール状態を示す指標です。各種大規模スタディの結果から糖尿病合併症、特に細血管合併症の頻度は HbA1c に比例しており、合併症を予防するためには、HbA1c を 7.0%以下に維持することが推奨されています。したがって、HbA1c が 7.0%以下にコントロールされている患者の割合を調べることは、糖尿病診療の質を判断する指標の1つであると考えられます。ただし、インスリンが必要でもインスリンを打てない高齢者、認知症があり食事したことを記憶できない患者、低血糖を感知できない糖尿病自律神経症を合併している患者、狭心症があり血糖を高めコントロールした方が安全である患者など、各患者の条件に応じて目標値を変えることが真の糖尿病治療の“質”であり、専門医があえて HbA1c を高め維持している患者もいます。したがって、すべての患者で、厳格なコントロールを求めることが正しいとは限らないことも忘れてはなりません。より高い値が望ましい。

※13bは、2019年4月から「65歳以上の糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c (NGSP) <8.0%」に指標が変更しております。

調査対象期間	糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数	分子数 <7%	コントロール率	分子数 <8%	コントロール率
2020年07月～2021年06月	1,274	565	44.3%	690	80.4%
2020年10月～2021年09月	1,151	546	47.4%	645	82.0%
2021年01月～2021年12月	1,150	564	49.0%	651	82.2%
2021年04月～2022年03月	1,116	459	41.1%	598	73.6%
2021年07月～2022年06月	1,198	558	46.6%	672	81.0%
2021年10月～2022年09月	1,266	599	47.3%	714	81.2%
2022年01月～2022年12月	1,285	594	46.2%	701	79.4%
2022年04月～2023年03月	1,335	555	41.6%	703	76.2%
2022年07月～2023年06月	1,371	587	42.8%	763	79.7%
2022年10月～2023年09月	1,202	514	42.8%	672	80.1%
2023年01月～2023年12月	1,422	701	49.3%	815	82.5%

(参考) QI 推進事業参加病院の平均値 <7.0%

2018年度 49.8% (前年比△0.3)
2019年度 47.7% (前年比△2.1)
2020年度 47.1% (前年比△0.6)
2021年度 47.3% (前年比+0.2)
2022年度 48.2% (前年比+0.9)

QI 推進事業参加病院の平均値 <8.0%

2019年度 68.1% (前年比—)
2020年度 77.8% (前年比+9.7)
2021年度 77.7% (前年比△0.1)
2022年度 78.5% (前年比+0.8)